

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-288144
(P2002-288144A)

(43)公開日 平成14年10月4日(2002.10.4)

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	テ-マ-コ-ト*(参考)
G 0 6 F 15/02	3 5 5	G 0 6 F 15/02	3 5 5 Z 5 B 0 1 9
	3 3 5		3 3 5 E 5 B 0 3 5
G 0 6 K 19/08		G 0 6 K 19/00	F
19/077			L
19/06			D

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2001-84318(P2001-84318)

(22)出願日 平成13年3月23日(2001.3.23)

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 岡田 泰

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

(74)代理人 100079843

弁理士 高野 明近 (外2名)

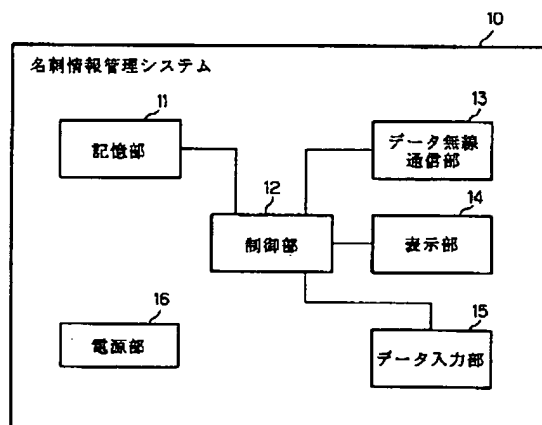
Fターム(参考) 5B019 DA07 DB10 EA02 EA06 GA03
5B035 BB09 CA23

(54)【発明の名称】 名刺管理装置、名刺管理方法、該方法を実行するためのプログラム及び記録媒体

(57)【要約】

【課題】 名刺交換を電子情報によって自動的に行うことができこれにより名刺情報の整理作業を合理化できるようにする。

【解決手段】 名刺管理装置10は、本装置を機能させるソフトウェアや名刺情報を記憶する記憶部11と、制御部12と、名刺情報等を無線にて送受信するためのデータ無線通信部13と、表示部14と、名刺情報等を直接入力するためのデータ入力部15と、電源部16とを有する。本装置は、例えばPDAのような形態で実現され、例えば名刺交換を行うような場合には、名刺交換を行う人が相互に名刺情報の送受信を行う。すなわち、名刺交換を行う際には、名刺交換が可能のように所定のソフトウェアを起動した状態で、自分の名刺情報を送信する指示入力を行うとともに、相手から送信された相手の名刺情報を受信した際には、その名刺情報を記憶部11に記憶するとともに、表示部14に表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 データ及びソフトウェアを記憶する記憶部と、装置の制御を行う制御部と、無線にてデータを送受信するためのデータ無線通信部と、情報表示を行うための表示部とを少なくとも有する機器として構成した名刺管理装置であって、該記憶部に名刺情報データを予め記憶せしめ、前記データ無線通信部によって該名刺情報を送信可能としたこと特徴とする名刺管理装置。

【請求項2】 請求項1に記載の名刺管理装置において、該名刺管理装置は、装置の各要素に電源を供給するための電源部を有し、ハンドヘルド機器またはパームサイズ機器として構成されることを特徴とする名刺管理装置。

【請求項3】 請求項2に記載の名刺管理装置において、前記名刺管理装置をPDAとして構成することを特徴とする名刺管理装置。

【請求項4】 請求項2に記載の名刺管理装置において、前記名刺管理装置をフィルム液晶セルによる電子ペーパーを表示部として用いた機器として構成することを特徴とする名刺管理装置。

【請求項5】 請求項2ないし4のいずれか1に記載の名刺管理装置は、前記記憶部に記憶させる情報を直接入力するための入力部をさらに有することを特徴とする名刺管理装置。

【請求項6】 請求項5に記載の名刺管理装置において、前記入力部は、キーボード入力手段及び／またはペン入力手段によるデータ入力機構により構成され、または外部機器からデータ入力を受け付けるインターフェースとして構成されることを特徴とする名刺管理装置。

【請求項7】 請求項1ないし6のいずれか1に記載の名刺管理装置において、前記名刺管理装置は、PC機能を有し、名刺管理ソフトウェアによって外部から受信した名刺情報データを処理して管理することを特徴とする名刺管理装置。

【請求項8】 請求項1ないし7のいずれか1に記載の名刺管理装置を、名刺情報の交換を行う人がそれぞれ用意し、それぞれの人の操作によって該名刺管理装置に保持している名刺情報を送信するとともに、相手から送信された名刺情報を受信することにより、名刺情報の交換を実行することを特徴とする名刺管理方法。

【請求項9】 請求項8に記載の名刺管理方法において、名刺情報の交換を行って受信した相手の名刺情報を該名刺管理装置の名刺管理用ソフトウェアで管理することを特徴とする名刺管理方法。

【請求項10】 請求項8に記載の名刺管理方法において、名刺情報の交換を行って受信した相手の名刺情報を別途用意したPC機器に出力し、該PC機器が有する名刺管理用ソフトウェアによって管理することを特徴とする名刺管理方法。

【請求項11】 請求項9または10に記載の名刺管理

方法において、前記名刺管理装置に保持させる名刺情報に自分の顔写真情報を含め、該名刺管理装置から送信する該顔写真情報を含む名刺情報を相手先の名刺管理装置の表示部に表示せしめるようにすることを特徴とする名刺管理方法。

【請求項12】 請求項9ないし11のいずれか1に記載の名刺管理方法において、前記名刺管理装置に保持させる名刺情報に自己紹介情報を含め、該名刺管理装置から送信する自己紹介情報を含む名刺情報を相手先の名刺管理装置の表示部に表示せしめるようにすることを特徴とする名刺管理方法。

【請求項13】 請求項12に記載の名刺管理方法において、前記名刺管理装置に保持させる名刺情報に任意のPR情報を含め、該名刺管理装置から送信する該PR情報を相手先の名刺管理装置の表示部に表示せしめるようにすることを特徴とする名刺管理方法。

【請求項14】 請求項8ないし13のいずれか1に記載の名刺管理方法を実行するためのプログラム。

【請求項15】 請求項14に記載のプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、名刺管理装置、名刺管理方法、該方法を実行するためのプログラム及び記録媒体に関し、より具体的には、従来の紙の名刺に代えて名刺交換を電子情報によって自動的に行うことができる機器を用いることにより迅速な名刺交換を可能とした名刺管理技術に関する。

【0002】

【従来の技術】例えば、初対面の人同士が会って挨拶を交わしたりする場面や、複数人による打ち合わせや会議あるいはその他の会合等の場面において、初対面の人同士が自己紹介をする際に、名刺を交換することが一般的に行われている。通常、人はこのような場合に備えて複数枚の名刺を持ち歩く必要があり、またこのような名刺交換によって取得した他人の名刺を持ち帰って整理する作業を行っている。しかしながら、従来の紙の名刺では、名刺情報を整理するのに手間がかかり、例えば、PCにインストールされている名刺管理ソフトウェアや住所録ソフトウェアで管理しようとしても、紙の名刺上の情報を電子情報に入力する必要があった。

【0003】また、上記のような打ち合わせや会議においては、特に他人数の人が相互にそれぞれ名刺交換を行うような場合、名刺交換を行うだけでもそれなりの時間を費やしてしまい、本来の貴重な会議の開始が遅れてしまうこともあった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたものであり、従来の紙の名刺に代えて名刺交換を電子情報によって自動的に行うことが

できる装置を用いることにより、迅速な名刺交換が可能で、かつ電子情報によって名刺情報の整理作業を合理化することができるようにした名刺管理装置、名刺管理方法、該方法を実行するプログラム及び記録媒体を提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、データ及びソフトウェアを記憶する記憶部と、装置の制御を行う制御部と、無線にてデータを送受信するためのデータ無線通信部と、情報表示を行うための表示部とを少なくとも有する機器として構成した名刺管理装置であって、該記憶部に名刺情報データを予め記憶せしめ、前記データ無線通信部によって該名刺情報を送信可能としたこと特徴としたものである。

【0006】請求項2の発明は、請求項1に記載の名刺管理装置において、該名刺管理装置は、装置の各要素に電源を供給するための電源部を有し、ハンドヘルド機器またはパームサイズ機器として構成されることを特徴としたものである。

【0007】請求項3の発明は、請求項2に記載の名刺管理装置において、前記名刺管理装置をPDAとして構成することを特徴としたものである。

【0008】請求項4の発明は、請求項2に記載の名刺管理装置において、前記名刺管理装置をフィルム液晶セルによる電子ペーパーを表示部として用いた機器として構成することを特徴としたものである。

【0009】請求項5の発明は、請求項2ないし4のいずれか1に記載の名刺管理装置は、前記記憶部に記憶させる情報を直接入力するための入力部をさらに有することを特徴としたものである。

【0010】請求項6の発明は、請求項5に記載の名刺管理装置において、前記入力部は、キーボード入力手段及び／またはペン入力手段によるデータ入力機構により構成され、または外部機器からデータ入力を受け付けるインターフェースとして構成されることを特徴としたものである。

【0011】請求項7の発明は、請求項1ないし6のいずれか1に記載の名刺管理装置において、前記名刺管理装置は、PC機能を有し、名刺管理ソフトウェアによって外部から受信した名刺情報データを処理して管理することを特徴としたものである。

【0012】請求項8の発明は、請求項1ないし7のいずれか1に記載の名刺管理装置を、名刺情報の交換を行う人がそれぞれ用意し、それぞれの人の操作によって該名刺管理装置に保持している名刺情報を送信するとともに、相手から送信された名刺情報を受信することにより、名刺情報の交換を実行することを特徴とする名刺管理方法である。

【0013】請求項9の発明は、請求項8に記載の名刺管理方法において、名刺情報の交換を行って受信した相

手の名刺情報を該名刺管理装置の名刺管理用ソフトウェアで管理することを特徴としたものである。

【0014】請求項10の発明は、請求項8に記載の名刺管理方法において、名刺情報の交換を行って受信した相手の名刺情報を別途用意したPC機器に出力し、該PC機器が有する名刺管理用ソフトウェアによって管理することを特徴としたものである。

【0015】請求項11の発明は、請求項9または10に記載の名刺管理方法において、前記名刺管理装置に保持させる名刺情報に自分の顔写真情報を含め、該名刺管理装置から送信する該顔写真情報を含む名刺情報を相手先の名刺管理装置の表示部に表示せしめるようにすることを特徴としたものである。

【0016】請求項12の発明は、請求項9ないし11のいずれか1に記載の名刺管理方法において、前記名刺管理装置に保持させる名刺情報に自己紹介情報を含め、該名刺管理装置から送信する自己紹介情報を含む名刺情報を相手先の名刺管理装置の表示部に表示せしめるようにすることを特徴としたものである。

【0017】請求項13の発明は、請求項12に記載の名刺管理方法において、前記名刺管理装置に保持させる名刺情報に任意のPR情報を含め、該名刺管理装置から送信する該PR情報を相手先の名刺管理装置の表示部に表示せしめるようにすることを特徴としたものである。

【0018】請求項14の発明は、請求項8ないし13のいずれか1に記載の名刺管理方法を実行するためのプログラムである。

【0019】請求項15の発明は、請求項14に記載のプログラムを記録した記録媒体である。

【0020】

【発明の実施の形態】図1は、本発明に係わる名刺情報管理装置の構成例を説明するためのブロック図である。本発明の名刺情報管理装置10は、名刺情報等データや本発明に係わる名刺情報の送受信機能を実現するソフトウェアを記憶する記憶部11、システムの制御を行う制御部12、名刺情報等を無線にて送受信するためのデータ無線通信部13、相手から受信した名刺データ等各種情報表示を行うための表示部14、個人の名刺情報等を入力するためのデータ入力部15、装置の各要素に電源を供給するための電源部16とを有して構成されている。なお上記データ入力部15は、例えばキーボードやペン入力手段等によるデータ入力機構により構成可能であって、またこの他、PC等外部機器からでのデータ入力を受け付けるインターフェースとして構成してもよい。またデータ無線通信部13によってデータ入力部15の機能を実現させるように構成してもよい。

【0021】記憶部11には、例えば所有者の名刺情報を予め記憶させておく。その名刺情報としては、例えば、氏名、所属団体、役職、住所、電話番号、ファクシミリ番号、電子メールアドレス等の一般的な情報を任意に採

用することができ、その他、自分の顔写真画像情報や、自己紹介情報等を含めると効果的である。さらには、名刺交換の際に相手に送りたい各種PR情報等を任意に生成して記憶させておくことができる。特に本発明では、紙による名刺ではなく電子情報によって相手とやりとりを行うため、例えば複数の人の名刺管理装置から一斉に名刺情報が送信されるケースがあるため、その名刺情報に顔写真情報を含めてそれを表示部14に表示させることによって、受信者は、名刺情報が誰から送信されたものかをすぐに確認することができる。

【0022】図2は、本発明による名刺情報管理装置を実現する機器の一例としてのPDA20の外観例を示す図である。PDA(personal digital assistants)は個人情報管理ツールとして、より個人の生活に密着して活用するようにデザインされている。PDAにおいては、市販品においてもワイヤレスによるデータ送受信機能が標準機能として組み込まれるようになって考えられている。すなわち、図1に示すごとのPDAのような形態で、その無線通信機能を利用して本発明による名刺管理システムの機能を好適に実現することができる。またこの他、名刺管理装置を、フィルム液晶セルを用いた電子ペーパーを表示手段に用いた機器として構成することもできる。

【0023】図3は、図2に示すごとのPDA20によって実際に名刺交換を行う場面を説明するための図である。本発明の名刺管理装置を用いて、いわゆる名刺交換を行うような場合には、名刺交換を行う人それぞれが本発明の名刺情報管理装置を保持している必要がある。図3では、本発明を実現したPDA20を両者で保持しているが、本発明の機能を実現し、相互にデータ通信が可能であれば同一の機器を各人が持っている必要はない。

【0024】図3に示すように、名刺交換に際しては、名刺交換を行う両者がPDA20によって相互に名刺情報の送受信を行う。すなわち、名刺交換を行う際には、名刺交換が可能のように所定のソフトウェアを起動した状態で、自分の名刺情報を送信する指示入力を行うとともに、相手から送信された相手の名刺情報を受信した際には、その名刺情報を記憶部に記憶するとともに、表示部に表示する。従って実際の場面では、名刺交換を始める旨を相互に確認して、データ送受信の準備を行い、ほぼ同じようなタイミングで名刺情報の送受信を行うようなケースがもっとも現実的と思われる。

【0025】また図3に示す形態と同様に、3人以上の複数人数による名刺交換も一斉に行うことができる。自分の送信した名刺情報は、複数のPDA20でほぼ同時に受信される。このときPDA20の発信電波の指向性特性によっては、ある程度送信者がPDA20をスキャンする必要があるかもしれない。

【0026】上記PDA20によって受信した名刺情報はその記憶部に保持され、PDA20において名刺管理

ソフトウェアや住所管理ソフトウェア等を稼働せしめて、該ソフトウェアにより情報整理することができる。またこれらソフトウェアによって整理された情報を図1に示すデータ無線通信部13、または図示しないデータ出力部から外部機器に出力することもできる。さらに、PDA20で受信した名刺情報それ自体を上記のごとく的手段によって例えばPC等の外部機器に出力し、該PCのソフトウェアによって情報管理を行うようにしてもよい。

【0027】本発明による名刺管理機能を実現するためのプログラムは、名刺管理装置の記憶部に記憶される。また記録媒体としては、具体的には、CD-ROM、光磁気ディスク、DVD-ROM、フロッピー（登録商標）ディスク、フラッシュメモリ、及びその他各種ROMやRAM等が想定でき、これら記録媒体に上述した本発明をコンピュータに実行させて名刺管理機能を実現するためのプログラムを記録して流通させることにより、当該機能の実現を容易にする。そしてコンピュータ等の情報処理装置に上記のごとくの記録媒体を装着して情報処理装置によりプログラムを読み出すか、若しくは情報処理装置が備えている記憶媒体に当該プログラムを記憶させておき、必要に応じて読み出すことにより、本発明に関わる名刺管理機能を実現することができる。

【0028】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、従来の紙の名刺に代えて名刺交換を電子情報によって自動的に行うことができる装置を用いることにより、迅速な名刺交換が可能で、かつ電子情報によって名刺情報の整理作業を合理化することができるようにした名刺管理装置、名刺管理方法、該方法を実行するプログラム及び記録媒体を提供することができる。

【0029】本発明の名刺管理装置により受け取った名刺情報は、電子情報であるために従来のような煩雑な名刺整理作業が不要となり、ユーザに大きな利便性を与えることができる。また、本発明の名刺管理装置によれば、ワイヤレスで同報送信が可能であるため、打ち合わせ等において名刺交換のための非本質的な時間を極力排除でき、時間を有効に使うことができるようになる。また、本発明に係わる名刺情報には、顔写真情報や自己紹介情報を含めることができるため、例えば営業活動を行うに際して有効なツールとして用いることができる。また本発明のシステムによれば、電子情報によって名刺情報を作成するため、名刺作成コストや名刺作成時間を削減して合理化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係わる名刺情報管理装置の構成例を説明するためのブロック図である。

【図2】 本発明による名刺情報管理装置を実現する機器の一例としてのPDAの外観例を示す図である。

【図3】 図2に示すごとのPDAによって実際に名

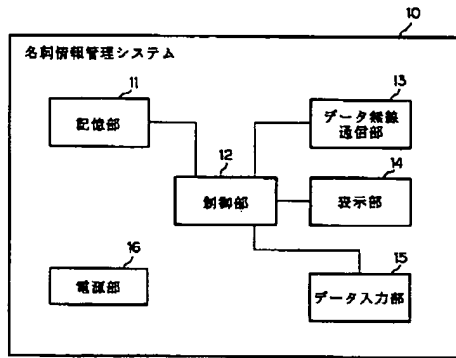
刺交換を行う場面を説明するための図である。

【符号の説明】

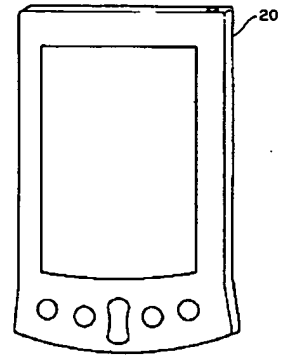
10…名刺情報管理装置、11…記憶部、12…制御

部、13…データ無線通信部、14…表示部、15…データ入力部、16…電源部、20…PDA。

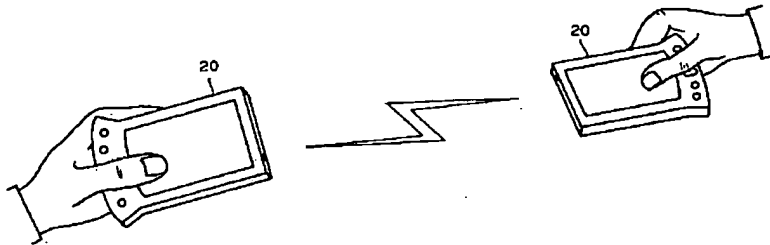
【図1】



【図2】



【図3】



A6

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-288144

(43)Date of publication of application : 04.10.2002

(51)Int.Cl.

G06F 15/02
G06K 19/08
G06K 19/077
G06K 19/06

(21)Application number : 2001-084318 (71)Applicant : RICOH CO LTD

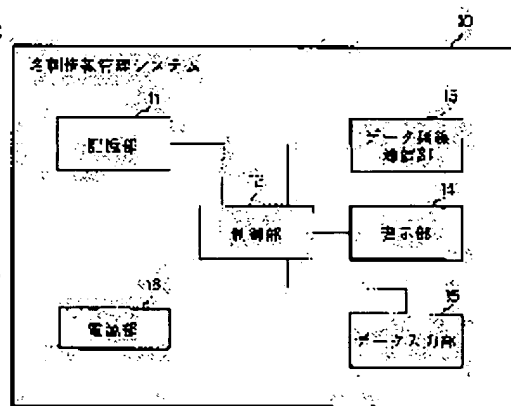
(22)Date of filing : 23.03.2001 (72)Inventor : OKADA YASUSHI

(54) BUSINESS CARD MANAGING DEVICE, BUSINESS CARD MANAGING METHOD AND PROGRAM AND RECORDING MEDIUM TO EXECUTE THE METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make the sorting of information of business cards rationalizable by automating the exchange of business cards by electronic information.

SOLUTION: The business card managing device 10 has a storage part 11 which stores software to have this system function and information on business cards, a control part 12, a wireless data communication part 13 to send and receive information on business cards or the like wireless, a display part 14, a data entry part 15 for directly entering information on business cards or the like and a power source part 16. This device is realized in a form such as a PDA and in the case of business cards exchange, for example, persons who exchange business cards send and receive information on business cards mutually. That is, at the time of exchange of business cards, information on business cards is entered so that it is sent in the state that a predetermined software is active to enable the exchange of business cards, and when information on business cards of the other party is received, the information is stored in the storage part 11 and displayed in the display part 14.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office